

平成25年度 大規模地震対応模擬訓練の開催

平成26年2月4日(火)

午後1時から午後4時30分

アイリス愛知 名古屋市中区丸の内

講師 (株)富士通総研BCM事業部

参加者46名

(19生協43名、行政1名、連合会2名)



災害発生後1時間に起こりうる状況に応じたリアルを体感し、これらに必要な応用可能なスキルを身につけるとともに、初動の様々な気づきを獲得、今後の危機管理への取り組み、BCP計画作成につなげることを目的に訓練をしました。



訓練想定

13:30発災 発災から1時間の対策本部を体験する。
会社:BCエレクトロニクス(株)模擬会社 本社名古屋市中区
5階、8階のフロアでの状況対応

3つの役割を考慮して訓練をすること

- ①人命救助 ②災害拡大防止 ③事業継続

訓練の方法

6人から7人を1つのグループとして各グループ内で役割分担を決める。
(対策本部長 確認係 情報記録係 発表係 担当者)
情報は事務局のスライドから得る。対応の方法は情報連絡係⇄世の中係で行う。
グループディスカッション、講評





社長への連絡は誰がするのか？その内容は？
常時、時系列でまとめておく人が必要。
気付いた事はメモをして、次の人に繋げる。
指示を具体的にする。適当な指示はダメ。指示を出すときはイメージーション力。
指示命令システムの代替拠点をつくる。権限移譲をどこまでやるのか決めておく。
データのバックアップはなぜするのか。被災時に早くデータが取り出せるために行う。
バックアップが目的でない、手段である。

1 人命の安全確保、負傷者の救護

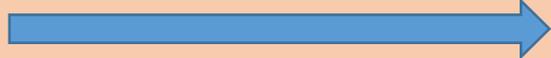
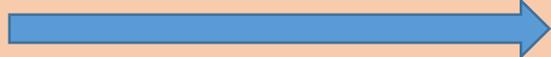
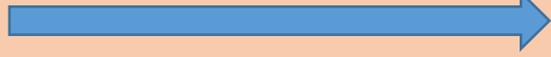
優先度をふまえた応急処置の対応
公助のみに頼らない重症者への対応

2 ビジネスの早期再開、復旧

被害状況の確認と影響評価
顧客とのコミュニケーション
再開方法と復旧見込みの判断

3 情報整理の方法

情報カテゴリ別に分けて時系列に整理

- ①人 
- ②建物 
- ③インフラ 
- ④ビジネス 

優先順位、対応状況を添付
優先順位を張り替える

